

高等教育機関における ICT の利活用に関する調査研究

(別添 4) 調査質問紙

(第 1 版)

平成 28 年 11 月

大学 ICT 推進協議会(AXIES) ICT 利活用調査部会

 **AXIES** 大学ICT推進協議会

目次

調査票（大学事務局用） ······	1
調査票（学部・研究科用） ······	20
調査票（短期大学・高等専門学校用） ······	42

調査票（大学事務局用）

調査票（大学事務局用）

本調査は、各大学の ICT（情報コミュニケーション技術）を用いた教育について調査することを目的としています。調査内容の詳細及び問い合わせ先につきましては調査票掲載サイト
<https://axies.jp/ja/ict/survey/>
をご覧下さい。

本調査は大学事務局の方にお聞きします。以下の設問にご回答下さい。

回答所用時間は30分程度です。

※ 特に指定がない場合、平成27年11月現在の状況についてお聞きします。

※ 機関を特定できる形での回答内容の公表は行いません。

貴学名称及び大学等コードをご記入下さい。

貴学名称

大学等コード

I. 基本情報

貴学の大学情報についてお聞きします。（　）の中に数値を記入して下さい。

問1. 地理的に分散しているキャンパス数、学部・研究科数、専任教員数、学生数、正職員数、年間の授業数についてご回答下さい。

(1)	キャンパス	(　) 箇所	(2)	サテライトオフィス	(　) 箇所
(3)	海外・その他	(　) 箇所	(4)	専任教員	約(　)名
(5)	学生(学部)	約(　)名	(6)	学生(研究科)	約(　)名
(7)	正職員	約(　)名	(8)	年間の授業数	約(　)授業

注：「正職員」は、当該機関において直接雇用された常勤の事務職員数をお書き下さい。外部資金等により雇用されるフルタイムの非常勤職員（事務補佐員、非常勤職員、派遣社員等）及びパートタイムの非常勤職員は除きます。

調査票（大学事務局用）

II. 組織戦略

貴学のICT活用教育（※）の全般的取り組みに関するお聞きします。

該当する番号に○を付けて下さい。

※ここで言うICT活用教育とは、情報コミュニケーション技術を利用した教育活動のこと。以下のものが例としてあげられる。eラーニング・デジタル教材の公開・オープンエデュケーション（OCWやMOOC）公開や活用、シラバスのWeb公開、ICTツールの授業利用、LMS（学習管理システム）やeポートフォリオの利用など。

問2. ICT活用教育を大学として重要と考えていますか？

1	全く重要ではない	2	あまり重要ではない
3	ある程度重要である	4	とても重要である
9	分からぬ		

問3. ICT活用教育の推進が組織のビジョンやアクションプランや中期計画に記述されていますか？

（「1」と回答された方は問5へ進んで下さい。）

注：「アクションプラン」とは目標を達成するための具体的な実行計画の意味合いであります。

0	記述されていない	1	記述されている
---	----------	---	---------

問4. 問3で「0. 記述されていない」と回答された方にお聞きします。

今後の記述予定についてご回答下さい。（回答後、問8へ進んで下さい。）

1	検討も予定もしていない	2	記述を検討している	3	記述を予定している
---	-------------	---	-----------	---	-----------

問5. ICT活用教育において、学生と教員間、及び学生間のオンライン上のコミュニケーションに関して、全学的なルールや内規がありますか？

1	はい	0	いいえ
---	----	---	-----

問6. ICT活用教育の推進に関する計画は全学レベルで立案されていますか？（複数回答可）

1	立案されていない	2	大枠の目標のみされている
3	年度区切りの中期計画がある	4	年間の詳細計画がある

問7. ICT活用教育を推進する組織はありますか？それは学内のどのレベルの組織ですか？（複数回答可）

1	存在しない	2	教員個人レベル	3	教員のグループ
4	学科・学部共通組織	5	全学共通組織		
6	その他の組織（具体的に				）
9	分からぬ				

調査票（大学事務局用）

問8. ICT活用教育の推進に関する資金はどのように確保していますか？（複数回答可）

（「1」または「9」と回答された方は問10へ進んで下さい。）

1	確保されていない	2	学内資金
3	政府からの競争的外部資金		
4	その他の外部資金（具体的に)
9	分からぬ		

問9. ICT活用教育に関する資金として、どの程度の予算を確保していますか？昨年度1年間の予算額についてご回答下さい。

注：予算額には、学内のICT環境（LMS、教材作成支援等）の維持・管理にかかる費用、正規雇用以外でICT環境の維持・管理のために雇用又は派遣されたスタッフの人事費を含みます。情報インフラの保守管理のための費用や、部局独自の費用は含みません。

1	50万円以下	2	51～100万円	3	101～500万円
4	501～1,000万円	5	1,001～3,000万円	6	3,001～5,000万円
7	5,000万円以上	9	分からぬ		

問10. ICT活用教育の推進に関する人材はどのように確保していますか？（複数回答可）

注：ボランティア、サークル、ゼミ等の学生スタッフがいるのであればアルバイト（学生）の人数にカウントして下さい

1	確保されていない	2	学内兼任者
3	学内専任者	4	外部委託
5	アルバイト（職員）	6	アルバイト（学生）
7	その他（具体的に)

問11. ICT活用教育の効果測定は行われていますか？（複数回答可）

（「1」と回答された方は問13へ進んで下さい。）

※学生アンケートには、授業評価アンケートを含む

1	行われていない	2	学生アンケート（※）で教育効果を測定
3	小テスト、学期末テストで教育効果を測定	4	LMS等で得られる学習データを利用して教育効果を測定
5	コスト削減効果を測定	6	OCW、MOOC公開等による広報効果を測定
7	その他（具体的に)

問12. ICT活用教育の効果測定結果は次期の実施に向けて反映されていますか？

1	全く反映されていない	2	あまり反映されていない
3	やや反映されている	4	よく反映されている
9	分からぬ		

調査票（大学事務局用）

問13. ICT活用教育の対象者は誰ですか？（複数回答可）

1	入学前の学生	2	一般の学生（通学）	3	社会人学生（通学）
4	学生（通信）	5	公開講座等の受講生	6	留学生
7	卒業生	8	教員	9	職員
10	執行部	11	その他（具体的に ）		

調査票（大学事務局用）

III. オープンエデュケーション

貴学のオープンエデュケーションやMOOCの全学的な取り組みについてお聞きします。
該当する番号に○を付けて下さい。

問14. オープンな教育リソース（OER）に関する貴学の認識の度合いについてご回答下さい。

注：「OER: Open Educational Resources」とは、インターネット等を通じて無償で入手可能な講義教材（OCW、講義ビデオ、電子教科書、学習コンテンツ等）、教育ソフトウェア等を含む教育リソースを指します。)

1	全く認識していない	2	あまり認識していない
3	やや認識している	4	よく認識している
9	分からない		

問15. オープンな教育リソース（OER）について、貴学での提供状況についてご回答下さい。

（「7」「9」に回答された方は問17へ進んで下さい。）

1	現在提供している		
2	次年度の提供を予定している	3	2～3年以内の提供を予定している
4	次年度の提供を検討している	5	2～3年以内の提供を検討している
6	時期は未定だが将来的な提供を検討している	7	提供する予定はない
9	分からない		

問16. 問15で「1～6」と回答された方にお聞きします。

OERを提供する目的は何ですか。（複数回答可）

1	高校生向けの広報	2	留学生の獲得
3	国内の大学生の獲得	4	国内の大学院生の獲得
5	社会人の転職の支援	6	社会人のスキルアップの支援
7	生涯教育の支援	8	卒業生への教育サービス提供
9	自学の学生の学習環境の向上	10	多様な教育提供の選択肢の拡大
11	教育情報の発信	12	高等教育機関としての社会貢献
13	教育の質の向上のための学習データ収集	14	ファカルティ・ディベロップメント
15	大学間教育連携（単位互換等）	16	その他（ ）

問17. オープンな教育リソース（OER）について、貴学での利用状況についてお聞きします。

1	現在利用している		
2	次年度の利用を予定している	3	2～3年以内の利用を予定している
4	次年度の利用を検討している	5	2～3年以内の利用を検討している
6	時期は未定だが将来的な利用を検討している	7	利用する予定はない
9	分からない		

調査票（大学事務局用）

問18. 大規模公開オンライン講座（MOOC）について、貴学からの提供状況についてお聞きします。

（「2～6」を選択された方は問20に進んで下さい。）

（「7」又は「9」を選択された方は問21に進んで下さい。）

注：「大規模公開オンライン講座（MOOC: Massive Open Online Course）」は、インターネット等を通じ、誰もが無償または安価で受講できる講義のことです。大人数（数千～数万名）の受講者を対象としており、受講者は講義ビデオやオンラインテストなどを使って学習を進めます。通常、数週間～数ヶ月の受講期間が設けられており、受講期間終了後には成績が提示され、合格者には修了証が発行されることがあります。例えばedX、Coursera、JM0OC等のプラットフォームやサービス提供者があります。

1	現在提供している		
2	次年度の提供を予定している	3	2～3年以内の提供を予定している
4	次年度の提供を検討している	5	2～3年以内の提供を検討している
6	時期は未定だが将来的な導入を検討している	7	提供する予定はない
9	分からぬ		

問19. 問18で「1. 現在提供している」と回答された方にお聞きします。

貴大学からMOOCで提供した講座数を数値でお答え下さい。

全講座数	() 科目	うち今年度の講座数	() 科目
------	--------	-----------	--------

問20. 問18で「1～6」と回答された方にお聞きします。

MOOCで講義を提供する目的は何ですか。（複数回答可）

1	高校生向けの広報	2	留学生の獲得
3	国内の大学生の獲得	4	国内の大学院生の獲得
5	社会人の転職の支援	6	社会人のスキルアップの支援
7	生涯教育の支援	8	卒業生への教育サービス提供
9	自学の学生の学習環境の向上	10	多様な教育提供の選択肢の拡大
11	教育情報の発信	12	高等教育機関としての社会貢献
13	教育の質の向上のための学習データ収集	14	ファカルティ・ディベロップメント
15	大学間教育連携（単位互換等）	16	その他（ ）

問21. MOOCについて、貴学以外の大学等で提供されている講義を、貴学で正式に利用していますか？

注：「正式な利用」とは、授業内外での補助教材（例：反転授業での利用）としての利用や、修了者への単位の振替などを含みます。

1	利用していない	2	利用を検討している
3	利用を予定している	4	利用している
9	分からぬ		

調査票（大学事務局用）

IV. ICT 活用教育実施状況

貴学における ICT 活用教育の実施環境についてお聞きします。

該当する番号に○を付けて下さい。

問22. 全学で学習管理システム（LMS）を導入・運用していますか？

（「0」と回答された方は問25へ進んで下さい。）

注：「LMS (Learning Management System)」とは、教材の配信、レポートや課題の提出、テスト、電子掲示板等の機能により授業に関する教育・学習環境を支援するためのオンラインシステムのことです。

1	はい	0	いいえ
---	----	---	-----

問23. 問22で「1. はい」と回答された方へお聞きします。利用している LMS をすべて選択して下さい。（複数回答可）

1	Blackboard-Learn	2	Blackboard-WebCT	3	COURSEPOWER
4	Canvas LMS	5	Sakai	6	moodle
7	CEAS	8	TIES	9	Internet Navigware
10	Web Class	11	.campus	12	manaba
13	Universal passport	14	JZ/Jenzabar	15	独自開発システム
16	その他（名称：）				

問24. 全学の学習管理システム（LMS）を、今年度、実際に利用している授業数についてお答え下さい。

注：登録のみで利用実態のない授業数は除きます。

1	約（ ）授業	9	分からない
---	--------	---	-------

調査票（大学事務局用）

問25. 全学的なICT環境の導入状況についてお尋ねします。以下の各項目についてご回答下さい。

	導入の予定はない	導入を検討している	導入を予定している	試行的に導入している	導入している	分からぬ
(1) キャンパス内の無線LAN	1	2	3	4	5	9
(2) eポートフォリオ	1	2	3	4	5	9
(3) 機関が提供している公式SNS	1	2	3	4	5	9
(4) 講義収録システム	1	2	3	4	5	9
(5) 講義教材・ビデオの一般公開 (OCW、iTunesU、YouTube等)	1	2	3	4	5	9
(6) 電子教科書の作成・提供	1	2	3	4	5	9
(7) シラバスの公開	1	2	3	4	5	9
(8) 入学手続きシステム ¹	1	2	3	4	5	9
(9) 入学予定者向けサービスの提供 (入学前教育、リメディアル教材提供等)	1	2	3	4	5	9
(10) 卒業生向けサービスの提供 (eメールアドレス配布、SNSアカウント提供等)	1	2	3	4	5	9
(11) 履修登録システム	1	2	3	4	5	9
(12) 顧客管理システム(CRM) ²	1	2	3	4	5	9
(13) 学生情報システム(SIS) ³	1	2	3	4	5	9
(14) ヘルプデスクの設置	1	2	3	4	5	9
(15) メールシステム(教職員・学生向け)	1	2	3	4	5	9
(16) ウェブサイト管理システム	1	2	3	4	5	9
(17) その他 具体的にお願い致します。 ()	1	2	3	4	5	9

注1：入学手続きシステム(Online Admission System)とは、高等教育機関が入学許可者を選抜するため、入学を希望する学生が、願書を提出したり高等教育機関が要求した課題・成績等の情報を応募のために提出するシステムのことです。

注2：顧客管理システム(CRM: Customer Relationship Management)とは、オープンキャンパス、公開講座、サマースクール等への出席者の情報等を管理するシステムのことです。

注3：学生情報システム(SIS: Student Information System)とは、履修登録に加えて、学内の様々な学生に関するデータを統合的に管理するシステムのことです。学生や関連するステークホルダーに対して有用な統計情報を提供する場合もあります。

調査票（大学事務局用）

V. ICT 活用教育の利点・欠点

貴大学の ICT 活用教育の導入目的・効果についてお聞きします。

該当する番号に○を付けて下さい。

問26. ICT 活用教育に期待される効果は何ですか？

以下の各項目についてご回答下さい。

	全く あて はまら ない	あまり あて はまら ない	やや あて はまる	よく あて はまる	分から ない
(1) 学生に対してより便利な環境の提供	1	2	3	4	9
(2) 学生の学習意欲の向上	1	2	3	4	9
(3) 学生の学習効果の向上	1	2	3	4	9
(4) 学生の修了率の向上	1	2	3	4	9
(5) 大学の競争力や知名度の向上	1	2	3	4	9
(6) 受験生・留学生の獲得	1	2	3	4	9
(7) 学生市場の拡大	1	2	3	4	9
(8) 教職員の作業効率化	1	2	3	4	9
(9) 予算コスト削減	1	2	3	4	9
(10) 教育の質の向上	1	2	3	4	9
(11) 幅広い教員獲得	1	2	3	4	9
(12) 外部の有用な教材・コンテンツを活用	1	2	3	4	9
(13) 単位互換など他大学との連携	1	2	3	4	9
(14) 学外にいる学生に対する学習リソースへのア クセスの向上	1	2	3	4	9
(15) アクティブラーニング型授業での利用	1	2	3	4	9
(16) PBL 型授業での利用 ¹	1	2	3	4	9
(17) 授業外学習時間の向上	1	2	3	4	9
(18) その他 具体的にお願い致します。 ()	1	2	3	4	9

注1 : Project-Based Learning、Problem-Based Learning を含みます。

調査票（大学事務局用）

問27. ICT活用教育を導入して実際に効果は得られましたか？

（「1又は9」と回答された方は問29へ進んで下さい。）

1	全くみられない	2	あまりみられない		
3	ややみられる	4	よくみられる		
9	分からぬ				

問28. 問27で選択肢「2、3、4」のいずれかを回答された方にお聞きします。

得られた効果は何ですか？ 以下の各項目についてご回答下さい。

	全く あて はまら ない	あまり あて はまら ない	やや あて はまる	よく あて はまる	分から ない
(1) 学生に対してより便利な環境を提供できるようになった	1	2	3	4	9
(2) 学生の学習意欲が向上した	1	2	3	4	9
(3) 学生の学習効果が向上した	1	2	3	4	9
(4) 学生の修了率が向上した	1	2	3	4	9
(5) 競争力や知名度が向上した	1	2	3	4	9
(6) より多くの受験生・留学生が獲得できた	1	2	3	4	9
(7) 対象学生層が拡大した	1	2	3	4	9
(8) 教職員の作業を効率化できた	1	2	3	4	9
(9) 予算コストが削減できた	1	2	3	4	9
(10) 教育の質が向上した	1	2	3	4	9
(11) 幅広い教員を獲得できた	1	2	3	4	9
(12) 外部の有用な教材・コンテンツを活用できた	1	2	3	4	9
(13) 単位互換など他大学との連携ができた	1	2	3	4	9
(14) 学外にいる学生に対する学習リソースへのアクセスが向上した	1	2	3	4	9
(15) アクティブラーニング型授業が増加した	1	2	3	4	9
(16) PBL型授業が増加した	1	2	3	4	9
(17) 授業外学習時間が向上した	1	2	3	4	9
(18) その他 具体的にお願い致します。 ()	1	2	3	4	9

調査票（大学事務局用）

問29. ICT活用教育の導入や推進を妨げる阻害要因は存在しますか？

（「1又は9」と回答された方は問31へ進んで下さい。）

1	全く存在しない	2	あまり存在しない
3	やや存在する	4	多数存在する
9	分からぬ		

問30. 問29で選択肢「2、3、4」のいずれかを回答された方にお聞きします。

その阻害要因は何ですか？ 以下の各項目についてご回答下さい。

	全く あて はまら ない	あまり あて はまら ない	やや あて はまる	よく あて はまる	分から ない
(1) 教職員の理解やモチベーションの不足	1	2	3	4	9
(2) 教職員のICT活用スキル不足	1	2	3	4	9
(3) 学生のICT活用スキル不足	1	2	3	4	9
(4) システム運用やコンテンツ開発に関するノウハウの不足	1	2	3	4	9
(5) 著作権処理等のノウハウの不足	1	2	3	4	9
(6) 予算の不足	1	2	3	4	9
(7) 時間の不足	1	2	3	4	9
(8) インフラの不整備	1	2	3	4	9
(9) 教職員へのICT活用の技術支援体制の不足	1	2	3	4	9
(10) 学習者への学習支援体制の不足	1	2	3	4	9
(11) システムやコンテンツを作成、維持する人員の不足	1	2	3	4	9
(12) 学内の組織的な協力支援体制の欠如	1	2	3	4	9
(13) 学内コンセンサスの欠如	1	2	3	4	9
(14) その他 具体的にお願い致します。 ()	1	2	3	4	9

調査票（大学事務局用）

問31. ICT活用教育を導入したデメリットは存在しますか？

（「1又は9」と回答された方は問33へ進んで下さい。）

1	全く存在しない	2	あまり存在しない
3	やや存在する	4	多数存在する
9	分からぬ		

問32. 問31で選択肢「2、3、4」のいずれかを回答された方にお聞きします。

そのデメリットは何ですか？ 以下の各項目についてご回答下さい。

	全く あて はまら ない	あまり あて はまら ない	やや あて はまる	よく あて はまる	分から ない
(1) コンテンツの作成など教員の負担増	1	2	3	4	9
(2) 事務作業の負担が増加	1	2	3	4	9
(3) 予算コストが増加	1	2	3	4	9
(4) 対面授業と比べて学習効果が低下	1	2	3	4	9
(5) 学生の学習意欲を維持することが困難	1	2	3	4	9
(6) 学生との意思疎通の困難	1	2	3	4	9
(7) システムの維持、管理で負担が増加	1	2	3	4	9
(8) ICTに不慣れな学生の対応の負担	1	2	3	4	9
(9) ICTに不慣れな教職員の対応の負担	1	2	3	4	9
(10) その他 具体的にお願い致します。 ()	1	2	3	4	9

調査票（大学事務局用）

VI. 支援体制

貴学における支援体制についてお聞きします。該当する番号に○を付けて下さい。

尚、問34及び問40は、該当する場合のみ（　　）の中に記入して下さい。

問33. 全学的にICT活用教育の運用のための技術支援を行う組織は存在しますか？（「〇」と回答された方は問38へ進んで下さい。）

注：本問以降、「技術支援」組織と「教育支援」組織を区別してお聞きします。「教育支援」については問39以降でお聞きします。

1	はい	0	いいえ
---	----	---	-----

問34. 問33で「1. はい」と回答された方にお聞きします。（　　）の中に記入して下さい。

注1：「アルバイト（学生）」は、ウェブサイトの管理、メディア教室や図書館等での教職員や学生向けの技術支援、ヘルプデスク対応、情報教育関連授業でのTA等の担当者を含みます。

注2：ボランティア、サークル、ゼミ等の学生スタッフがいるのであればアルバイト（学生）の人数にカウントして下さい。

注3：正職員及びフルタイムの非常勤職員（事務補佐員、非常勤職員、派遣社員等）は「職員」に、パートタイムの非常勤職員は「アルバイト（職員）」にカウントして下さい。

A	組織の名前を教えて下さい。（　　）	
B	組織のスタッフ数を教えて下さい。 常勤（　　）名 非常勤（　　）名	
C	内訳を教えて下さい。 (1)専任教員 (　　)名 (2)兼任教員 (　　)名 (3)職員 (　　)名 (4)アルバイト（職員）(　　)名 (5)アルバイト（学生）(　　)名 (6)その他 (　　)名	
D	Cの内訳の中で、直接技術支援を行っている人数を教えて下さい。 (1)専任教員 (　　)名 (2)兼任教員 (　　)名 (3)職員 (　　)名 (4)アルバイト（職員）(　　)名 (5)アルバイト（学生）(　　)名 (6)その他 (　　)名	

調査票（大学事務局用）

問35. その組織は次の支援を行っていますか？

	全く 行って いない	あまり 行って いない	一部 行って いる	行って いる	分から ない
(1) LMS の提供・管理運営	1	2	3	4	9
(2) LMS 以外の授業用グループウェアや コミュニケーションツールの提供・管理運営	1	2	3	4	9
(3) e ポートフォリオの提供・管理運営	1	2	3	4	9
(4) ストリーミングサーバの提供・管理運営	1	2	3	4	9
(5) e ラーニングコンテンツ作成システム (スタジオ) の提供・管理運営	1	2	3	4	9
(6) テレビ会議システムの提供・管理運営	1	2	3	4	9
(7) PC・端末貸出	1	2	3	4	9
(8) ソフトウェア貸出・提供	1	2	3	4	9
(9) 技術的支援のためのヘルプデスクの設置・管理運営	1	2	3	4	9
(10) 技術的支援のためのパンフレット・手引書の作成・ 配布	1	2	3	4	9
(11) 技術的支援のための講習会・セミナーの実施	1	2	3	4	9
(12) その他 具体的にお願い致します。 ()	1	2	3	4	9

問36. その組織において、学生アルバイトは、ICT 活用教育の運用のための技術支援に関する補助業 務等を行っていますか？

注：「補助業務」とは問35の設問にあるような技術支援に対する補助を想定しています。

1	全く行っていない	2	あまり行っていない
3	一部行っている	4	行っている
9	分からない		

問37. その組織の抱えている問題点は次のどれですか？（複数回答可）

1	予算の不足	2	技術的支援のための人員の不足
3	経営側の理解不足	4	教員の理解不足
5	ICT 活用教育に関する情報不足		
6	その他（具体的に ）		

調査票（大学事務局用）

問38. ICTセキュリティに関して、昨年度1年間に起こったインシデント（実際に起きた事件・事故）についてご回答下さい。（複数回答可）

1	個人情報の盗難・紛失（ノートPC・USBデバイス等）	2	組織のネットワークへの外部からの攻撃・侵入
3	コンピュータウイルス	4	スパイウェア
5	SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）に関する事件・事故	6	ホームページの改ざん
7	その他（具体的に）)
9	分からぬ		

問39. 全学的にICT活用教育の運用のための教育支援を行う組織は存在しますか？（「0」と回答された方は問45へ進んで下さい。）

1	はい	0	いいえ
---	----	---	-----

問40. 問39で「1. はい」と回答された方にお聞きします。（　）の中に記入して下さい。

注1：ボランティア、サークル、ゼミ等の学生スタッフがいるのであればアルバイト（学生）の人数にカウントして下さい。

注2：正職員及びフルタイムの非常勤職員（事務補佐員、非常勤職員、派遣社員等）は「職員」に、パートタイムの非常勤職員は「アルバイト（職員）」にカウントして下さい。

A	組織の名前を教えて下さい。（　）		
B	組織のスタッフ数を教えて下さい。常勤（　）名	非常勤（　）名	
C	内訳を教えて下さい。 (1)専任教員 (　)名 (3)職員 (　)名 (5)アルバイト（学生）(　)名		
	(2)兼任教員 (　)名	(4)アルバイト（職員）(　)名	(6)その他 (　)名
D	Cの内訳の中で、直接教育支援を行っている人数を教えて下さい。 (1)専任教員 (　)名 (3)職員 (　)名 (5)アルバイト（学生）(　)名		
	(2)兼任教員 (　)名	(4)アルバイト（職員）(　)名	(6)その他 (　)名

調査票（大学事務局用）

問41. その組織は教員に対して次の支援を行っていますか？

	全く 行って いない	あまり 行って いない	一部 行って いる	行って いる	分から ない
(1) 教員向け相談員制度の設置	1	2	3	4	9
(2) 授業用 Web ページ作成支援（作成補助、助言）	1	2	3	4	9
(3) ビデオ教材作成支援（作成補助、助言）	1	2	3	4	9
(4) e ラーニングコンテンツ作成支援（作成補助、助言）	1	2	3	4	9
(5) インストラクショナルデザインなどに基づく教授設計支援	1	2	3	4	9
(6) ICT 活用の個別相談・指導	1	2	3	4	9
(7) ICT 活用実施に関する資金補助	1	2	3	4	9
(8) ICT 活用事例の収集・広報・紹介	1	2	3	4	9
(9) ICT 活用授業の教員相互参観の促進	1	2	3	4	9
(10) 教育利用のためのパンフレット・手引書の作成・配布	1	2	3	4	9
(11) 教育利用のための講習会・セミナーの実施	1	2	3	4	9
(12) 学外で行われる教育利用のための講習会・セミナーの紹介	1	2	3	4	9
(13) 学生アンケートによる授業方法改善の提案	1	2	3	4	9
(14) その他 具体的にお願い致します。 ()	1	2	3	4	9

調査票（大学事務局用）

問4.2. その組織は学習者に対して次の支援を行っていますか？

	全く 行って いない	あまり 行って いない	一部 行って いる	行って いる	分から ない
(1) ICT活用のためのヘルプデスク	1	2	3	4	9
(2) ICT活用のためのパンフレット・手引書の作成・配布	1	2	3	4	9
(3) ICT活用のための講習会の実施	1	2	3	4	9
(4) 掲示板や学習クラブなど学生コミュニティの運営	1	2	3	4	9
(5) 学生アンケート結果の開示・返答	1	2	3	4	9
(6) その他 具体的にお願い致します。 ()	1	2	3	4	9

問4.3. その組織において、学生アルバイトは、ICT活用教育の運用のための、教員や学生に対する教育支援に関する補助業務等を行っていますか？

注：「補助業務」とは問4.1及び問4.2の設問にあるような技術支援に対する補助を想定しています。

1	全く行っていない	2	あまり行っていない
3	一部行っている	4	行っている
9	分からない		

問4.4. その組織の抱えている問題点は次のどれですか？（複数回答可）

1	予算の不足	2	技術的支援のための人員の不足
3	経営側の理解不足	4	教員の理解不足
5	ICT活用教育に関する情報不足		
6	その他（具体的に)		

調査票（大学事務局用）

VII. そのほか

問45. 本調査について、回答が困難であった質問項目にチェックを入れて下さい。（複数回答可）

- 組織戦略
- オープンエデュケーション
- ICT 活用教育実施状況
- ICT 活用教育の利点・決定
- 支援体制

問46. 本調査に関連して、貴学における ICT 活用教育についての有益な情報や先駆的な取り組み、
また他機関から得たい情報があれば、ご自由にご記入下さい。

回答欄 :

調査票（大学事務局用）

VIII. 回答者情報

本調査のご回答内容に関して、後日確認させて頂く場合がございますので、ご担当者の連絡先のご記入をお願い致します。

尚、本調査により得られた個人情報及び回答内容については、適正に取り扱い、集計分析及び報告書公開のご連絡以外に使用することは決してございません。

貴 学 名 称	
貴 学 の 長 御 氏 名	
御 担 当 者 (所 属)	
(役 職)	
(氏 名)	
電 話 番 号	
E-mail アドレス	

調査項目は以上です。ご協力ありがとうございました。

調査票（学部・研究科用）

調査票（学部・研究科用）

本調査は、各大学の ICT（情報コミュニケーション技術）を用いた教育について調査することを目的としています。調査内容の詳細及び問い合わせ先につきましては調査票掲載サイト
<http://axies.jp/ja/ict/survey/>
をご覧下さい。

本調査は大学の各学部・研究科の教職員の方にお聞きします。以下の設問にご回答下さい。
回答所用時間は30分程度です。

※ 特に指定がない場合、平成27年10月現在の状況についてお聞きします。

※ 機関を特定できる形での回答内容の公表は行いません。

貴大学名称及び貴学部、研究科等名称をご記入下さい。

学部と研究科で回答内容が同じ場合は、（記入例）のとおり、「学部、研究科等名称」及び「学部、研究科等コード」欄に併記して下さい。

（記入例）

学部、研究科等名称	文学部、文学研究科	学部、研究科等コード	
大学名称		大学等コード	
学部、研究科等名称		学部、研究科等コード	

I. 基本情報

貴部局の情報についてお聞きします。（　）の中に数値を記入して下さい。

問1. 専任教員数、学生数、正職員数、年間の授業数についてご回答下さい。

(1)	専任教員	約(　　)名	(2)	学生	約(　　)名
(3)	正職員	約(　　)名	(4)	年間の授業数	約(　　)授業

注：「正職員」は、当該機関において直接雇用された常勤の事務職員数をお書き下さい。外部資金等により雇用されるフルタイムの非常勤職員（事務補佐員、非常勤職員、派遣社員等）及びパートタイムの非常勤職員は除きます。

調査票（学部・研究科用）

II. 組織戦略

貴学部又は研究科におけるICT活用教育（※）の全般的取り組みについてお聞きします。

該当する番号に○を付けて下さい。

※ここで言うICT活用教育とは、情報コミュニケーション技術を利用した教育活動のこと。以下のものが例としてあげられる。eラーニング・デジタル教材の公開・オープンエデュケーション（OCWやMOOC）公開や活用、シラバスのWeb公開、ICTツールの授業利用、LMS（学習管理システム）やeポートフォリオの利用など。

問2. ICT活用教育を学部又は研究科として重要と考えていますか？

1	全く重要ではない	2	あまり重要ではない
3	ある程度重要である	4	とても重要である
9	分からない		

問3. ICT活用教育の推進が学部又は研究科のビジョンやアクションプランや中期計画に記述されていますか？（「1」と回答された方は問5へ進んで下さい。「2」と回答された方は問6へ進んで下さい。）

注：「アクションプラン」とは目標を達成するための具体的な実行計画の意味合いであります。

0	記述されていない	1	記述されている
2	全学のプラン等に従っている		

問4. 問3で「0. 記述されていない」と回答された方にお聞きします。

今後の記述予定についてご回答下さい。

1	検討も予定もしていない	2	記述を検討している	3	記述を予定している
---	-------------	---	-----------	---	-----------

問5. ICT活用教育の推進に関する計画は学部・研究科レベルで立案されていますか？

1	立案されていない	2	大枠の目標のみされている
3	年度区切りの中期計画がある	4	年間の詳細計画がある

問6. ICT活用教育を推進する組織はありますか？それは学内のどのレベルの組織ですか？（複数回答可）

1	存在しない	2	教員個人レベル	3	教員のグループ
4	学科・学部共通組織	5	大学共通組織		
6	その他の組織（具体的に				）
9	分からない				

調査票（学部・研究科用）

問7. ICT活用教育の推進に関する資金はどのように確保していますか？（複数回答可）

（「1」または「9」と回答された方は問9へ進んで下さい。）

1	確保されていない	2	学内資金
3	政府からの競争的外部資金		
4	その他の外部資金（具体的に)
9	分からぬ		

問8. ICT活用教育に関する資金として、どの程度の予算を確保していますか？昨年度1年間の予算額についてご回答下さい。

注：予算額には、学内のICT環境（LMS、教材作成支援等）の維持・管理にかかる費用、正規雇用以外でICT環境の維持・管理のために雇用又は派遣されたスタッフの人事費を含みます。情報インフラの保守管理のための費用は含みません。

1	50万円以下	2	51～100万円	3	101～500万円
4	501～1,000万円	5	1,001～3,000万円	6	3,001～5,000万円
7	5,001万円以上				
9	分からぬ				

問9. ICT活用教育の推進に関する人材はどのように確保していますか？（複数回答可）

注：ボランティア、サークル、ゼミ等の学生スタッフがいるのであればアルバイト（学生）の人数にカウントして下さい

1	確保されていない	2	学内兼任者
3	学内専任者	4	外部委託
5	アルバイト（職員）	6	アルバイト（学生）
7	その他（具体的に)

調査票（学部・研究科用）

問10. ICT活用教育の効果測定は行われていますか？（複数回答可）

（「1」と回答された方は問12へ進んで下さい。）

※学生アンケートには、授業評価アンケートを含む

1	行われていない	2	学生アンケートで教育効果を測定
3	小テスト、学期末テストで教育効果を測定	4	LMS等で得られる学習データを利用して教育効果を測定
5	コスト削減効果を測定	6	OER, MOOC公開等による広報効果を測定
6	その他（具体的に)

問11. ICT活用教育の効果測定結果は次期の実施に向けて反映されていますか？

1	全く反映されていない	2	あまり反映されていない
3	やや反映されている	4	よく反映されている
9	分からない		

問12. ICT活用教育の対象者は誰ですか？（複数回答可）

1	入学前の学生	2	一般の学生（通学）	3	社会人学生（通学）
4	学生（通信）	5	公開講座等の受講生	6	留学生
7	卒業生	8	教員	9	職員
10	その他（具体的に)

調査票（学部・研究科用）

III. オープンエデュケーション

貴学部又は研究科におけるオープンエデュケーションや MOOC の取り組みについてお聞きします。該当する番号に○を付けて下さい。

問13. オープンな教育リソース（OER）に関する貴学部又は研究科の認識の度合いについてご回答下さい。

注：「OER: Open Educational Resources」とは、インターネット等を通じて無償で入手可能な講義教材（OCW、講義ビデオ、電子教科書、学習コンテンツ等）、教育ソフトウェア等を含む教育リソースを指します。)

1	全く認識していない	2	あまり認識していない
3	やや認識している	4	よく認識している
9	分からない		

問14. オープンな教育リソース（OER）について、貴学部又は研究科での提供状況についてご回答下さい。

（「7」「9」に回答された方は問16へ進んで下さい。）

1	現在提供している		
2	次年度の提供を予定している	3	2～3年以内の提供を予定している
4	次年度の提供を検討している	5	2～3年以内の提供を検討している
6	時期は未定だが将来的な提供を検討している	7	提供する予定はない
9	分からない		

問15. 問14で「1～6」と回答された方にお聞きします。

OERを提供する目的は何ですか。（複数回答可）

1	高校生向けの広報	2	留学生の獲得
3	国内の大学生の獲得	4	国内の大学院生の獲得
5	社会人の転職の支援	6	社会人のスキルアップの支援
7	生涯教育の支援	8	卒業生への教育サービス提供
9	自学の学生の学習環境の向上	10	多様な教育提供の選択肢の拡大
11	教育情報の発信	12	高等教育機関としての社会貢献
13	教育の質の向上のための学習データ収集	14	ファカルティ・ディベロップメント
15	大学間教育連携（単位互換等）	16	その他（ ）

問16. オープンな教育リソース（OER）について、貴学部又は研究科での利用状況についてご回答下さい。

1	現在利用している		
2	次年度の利用を予定している	3	2～3年以内の利用を予定している
4	次年度の利用を検討している	5	2～3年以内の利用を検討している
6	時期は未定だが将来的な利用を検討している	7	利用する予定はない
9	分からない		

調査票（学部・研究科用）

問17. MOOC（大規模公開オンライン講座）についてお聞きします。貴学以外の大学等で提供されている講義を、貴学部又は研究科で正式に利用していますか？

注：「正式な利用」とは、授業内外での補助教材（例：反転授業での利用）としての利用や、修了者への単位の振替などを含みます。

1	利用していない	2	利用を検討している
3	利用を予定している	4	利用している
9	分からぬ		

調査票（学部・研究科用）

IV. ICT 活用教育実施状況

1 授業科目における、オンライン型授業と対面型授業の割合についてお聞きします。

尚、オンライン型授業とは、ネットワークを経由して行う形式の授業です。

該当する番号に○を付けて下さい。

問 18. 全ての授業が対面型で行われる科目はどのくらいありますか？

注：オンライン型授業の割合が 0% の科目が対象です。

1	なし (0%)	2	1～25%の科目	3	26～50%の科目
4	51～75%の科目	5	76～99%の科目	6	全ての科目 (100%)
9	分からない				

問 19. ほとんどの授業が対面型で行われる科目はどのくらいありますか？

注：オンライン型授業の割合が 1～29% の科目が対象です。

1	なし (0%)	2	1～25%の科目	3	26～50%の科目
4	51～75%の科目	5	76～99%の科目	6	全ての科目 (100%)
9	分からない				

問 20. 対面とオンラインのブレンド型で行われる科目はどのくらいありますか？

注：オンライン型授業の割合が 30～79% の科目が対象です。

1	なし (0%)	2	1～25%の科目	3	26～50%の科目
4	51～75%の科目	5	76～99%の科目	6	全ての科目 (100%)
9	分からない				

問 21. 全ての授業がオンライン型で行われる科目はどのくらいありますか？

注：オンライン型授業の割合が 80～100% の科目が対象です。

1	なし (0%)	2	1～25%の科目	3	26～50%の科目
4	51～75%の科目	5	76～99%の科目	6	全ての科目 (100%)
9	分からない				

続いて、貴学部・研究科における情報コミュニケーション技術（ICT）を用いた教育についてお聞きします。

問 22. シラバスの Web 上の公開をどの程度行っていますか？

1	公開していない	2	学部・研究科提供科目の一部
3	学部・研究科提供科目の全て	4	学内共通科目
9	分からない		

問 23. 【授業中】において、以下の ICT ツールをどの程度用いていますか？

調査票（学部・研究科用）

	全く 使って いない	あまり 使って いない	よく 使って いる	とてもよ く使って いる	分から ない
(1) パワーポイント等のスライド	1	2	3	4	9
(2) Web 上の教材・ビデオ	1	2	3	4	9
(3) OER	1	2	3	4	9
(4) 講義映像等のストリーミングビデオ	1	2	3	4	9
(5) シミュレーション教材	1	2	3	4	9
(6) 携帯・スマートフォン・タブレットのアプリケーション	1	2	3	4	9
(7) 電子黒板	1	2	3	4	9
(8) 電子書籍・電子教科書	1	2	3	4	9
(9) テレビ会議・ウェブ会議システム(ポリコム等)	1	2	3	4	9
(10) チャット・ビデオチャット (Skype、FaceTime 等)	1	2	3	4	9
(11) Wiki	1	2	3	4	9
(12) ソーシャル・ネットワーキング・サービス (mixi、Gree、Facebook 等)	1	2	3	4	9
(13) ブログ	1	2	3	4	9
(14) LINE	1	2	3	4	9
(15) LMS	1	2	3	4	9
(16) e ポートフォリオ (mahara 等)	1	2	3	4	9
(17) クリッカー (レスポンスアナライザ)	1	2	3	4	9
(18) ファイル共有ツール (dropbox 等)	1	2	3	4	9
(19) コラボレーションツール (Google Docs、SharePoint、Office365 等)	1	2	3	4	9
(20) Twitter	1	2	3	4	9
(21) その他のツール ()	1	2	3	4	9

調査票（学部・研究科用）

問24. 【授業外時間の学習】において、以下のICTツールをどの程度用いていますか？

	全く 使って いない	あまり 使って いない	よく 使って いる	とてもよ く使って いる	分から ない
(1) パワーポイント等のスライド	1	2	3	4	9
(2) Web上の教材・ビデオ	1	2	3	4	9
(3) OER	1	2	3	4	9
(4) 講義映像等のストリーミングビデオ	1	2	3	4	9
(5) シミュレーション教材	1	2	3	4	9
(6) 携帯・スマートフォン・タブレットのアプリケーション	1	2	3	4	9
(7) 電子黒板	1	2	3	4	9
(8) 電子書籍・電子教科書	1	2	3	4	9
(9) テレビ会議・ウェブ会議システム(ポリコム等)	1	2	3	4	9
(10) チャット・ビデオチャット(Skype、FaceTime等)	1	2	3	4	9
(11) Wiki	1	2	3	4	9
(12) ソーシャル・ネットワーキング・サービス(mixi、Gree、Facebook等)	1	2	3	4	9
(13) ブログ	1	2	3	4	9
(14) LINE	1	2	3	4	9
(15) LMS	1	2	3	4	9
(16) eポートフォリオ(mahara等)	1	2	3	4	9
(17) クリッカー(レスポンスアナライザ)	1	2	3	4	9
(18) ファイル共有ツール(dropbox等)	1	2	3	4	9
(19) コラボレーションツール(Google Docs、SharePoint、Office365等)	1	2	3	4	9
(20) Twitter	1	2	3	4	9
(21) その他のツール()	1	2	3	4	9

調査票（学部・研究科用）

問25. 用いたICTツールの利用目的は何ですか？以下の各項目についてご回答下さい。

	全く あて はまら ない	あまり あて はまら ない	やや あて はまる	よく あて はまる	分から ない
(1) 学務情報の伝達	1	2	3	4	9
(2) 授業に関する教材の提供	1	2	3	4	9
(3) 授業外学習に対する支援	1	2	3	4	9
(4) 自学自習	1	2	3	4	9
(5) リメディアル	1	2	3	4	9
(6) 反転授業	1	2	3	4	9
(7) 学生・教員間のコミュニケーション	1	2	3	4	9
(8) 学生間のコミュニケーション	1	2	3	4	9
(9) 学習者間のグループ活動による学習	1	2	3	4	9
(10) 授業中の投票	1	2	3	4	9
(11) 発見型・探索型学習	1	2	3	4	9
(12) テスト・アセスメント	1	2	3	4	9
(13) レポートなどの提出	1	2	3	4	9
(14) これまでの学習活動のポートフォリオの提供 (学習記録の提供)	1	2	3	4	9
(15) 教育改善に向けた学習データの分析	1	2	3	4	9
(16) 授業評価やアンケート	1	2	3	4	9
(17) 授業の感想や振り返り	1	2	3	4	9
(18) 自己評価・他者評価・相互評価	1	2	3	4	9
(19) 学外向けの宣伝	1	2	3	4	9

続いて、教材・コンテンツについてお聞きします。

問26. 教材やコンテンツの作成はどのように行っていますか？あてはまる科目の割合をお答え下さい。（複数選択可）

1	教員が独力で作成している	2	教員が同僚と協力して作成している
3	学内の支援組織が作成している	4	有償の外部コンテンツを用いている
5	無償の外部コンテンツを用いている		

調査票（学部・研究科用）

問27. 国内外の他大学と教材の共有を行っていますか？

（「0」と回答された方は問29へ進んで下さい。）

1	はい	0	いいえ
---	----	---	-----

問28. 問27で「1. はい」と回答された方へお聞きします。以下の項目から当てはまるものを選択して下さい。（複数回答可）

1	国内の他大学の教材を利用している	2	国内の他大学へ教材を提供している
3	海外の他大学の教材を利用している	4	海外の他大学へ教材を提供している

次に、学習管理システム（Learning Management System:LMS）についてお聞きします。

問29. 学習管理システム（LMS）を利用していますか？（複数回答可）

（「9」と回答された方は問32へ進んで下さい。）

注：「LMS（Learning Management System）」とは、教材の配信、レポートや課題の提出、テスト、電子掲示板等の機能により授業に関する教育・学習環境を支援するためのオンラインシステムのことです。

1	全学で運用されている LMS を利用している	2	部局で運用されている LMS を利用している
3	個人教員が運用している LMS を利用している	9	していない

問30. 問29で選択肢「1、2、3」のいずれかを回答された方へお聞きします。利用している LMS をすべて選択して下さい。（複数回答可）

1	Blackboard-Learn	2	Blackboard-WebCT	3	COURSEPOWER
4	Canvas LMS	5	Sakai	6	moodle
7	CEAS	8	TIES	9	Internet Navigware
10	Web Class	11	.campus	12	manaba
13	Universal passport	14	JZ/Jenzabar	15	独自開発システム
16	その他（名称：）				

問31. 学習管理システム（LMS）を、今年度、実際に利用している授業数についてお答え下さい。

注：登録のみで利用実態のない授業数は除きます。

1	約（ ）授業	9	分からない
---	--------	---	-------

調査票（学部・研究科用）

問3.2. 貴学部又は研究科におけるICT環境の導入状況についてお尋ねします。以下の各項目についてご回答下さい。

	導入の予定はない	導入を検討している	導入を予定している	試行的に導入している	導入している	分からぬ
(1) キャンパス内の無線LAN	1	2	3	4	5	9
(2) eポートフォリオ	1	2	3	4	5	9
(3) 機関が提供している公式SNS	1	2	3	4	5	9
(4) 講義収録システム	1	2	3	4	5	9
(5) 講義教材・ビデオの一般公開 (OCW、iTunesU、YouTube等)	1	2	3	4	5	9
(6) 電子教科書の作成・提供	1	2	3	4	5	9
(7) シラバスの公開	1	2	3	4	5	9
(8) 入学手続きシステム ¹	1	2	3	4	5	9
(9) 入学予定者向けサービスの提供 (入学前教育、リメディアル教材提供等)	1	2	3	4	5	9
(10) 卒業生向けサービスの提供 (eメールアドレス配布、SNSアカウント提供等)	1	2	3	4	5	9
(11) 履修登録システム	1	2	3	4	5	9
(12) 顧客管理システム(CRM) ²	1	2	3	4	5	9
(13) 学生情報システム(SIS) ³	1	2	3	4	5	9
(14) ヘルプデスクの設置	1	2	3	4	5	9
(15) メールシステム(教職員・学生向け)	1	2	3	4	5	9
(16) ウェブサイト管理システム	1	2	3	4	5	9
(17) その他 具体的にお願い致します。 ()	1	2	3	4	5	9

注1：入学手続きシステム(Online Admission System)とは、高等教育機関が入学許可者を選抜するため、入学を希望する学生が、願書を提出したり高等教育機関が要求した課題・成績等の情報を応募のために提出するシステムのことです。

注2：顧客管理システム(CRM: Customer Relationship Management)とは、オープンキャンパス、公開講座、サマースクール等への出席者の情報等を管理するシステムのことです。

注3：学生情報システム(SIS: Student Information System)とは、例えば、学生の属性、学習履歴、履修状況、成績、出欠状況、スケジュール管理等、学生に関するデータを統合的に管理するシステムのことです。学生や関連するステークホルダーに対して有用な統計情報を提供する場合もあります。

調査票（学部・研究科用）

V. ICT 活用教育の利点・欠点

貴学部又は研究科における、ICT 活用教育の導入目的・効果についてお聞きします。

該当する番号に○を付けて下さい。

尚、ICT 活用教育は問 2 3 のツールの利用を含むと想定しております。

問 3 3. ICT 活用教育に期待される効果は何ですか？

以下の各項目についてご回答下さい。

	全く あて はまら ない	あまり あて はまら ない	やや あて はまる	よく あて はまる	分から ない
(1) 学生に対してより便利な環境の提供	1	2	3	4	9
(2) 学生の学習意欲の向上	1	2	3	4	9
(3) 学生の学習効果の向上	1	2	3	4	9
(4) 学生の修了率の向上	1	2	3	4	9
(5) 大学の競争力や知名度の向上	1	2	3	4	9
(6) 受験生・留学生の獲得	1	2	3	4	9
(7) 学生市場の拡大	1	2	3	4	9
(8) 教職員の作業効率化	1	2	3	4	9
(9) 予算コスト削減	1	2	3	4	9
(10) 教育の質の向上	1	2	3	4	9
(11) 幅広い教員獲得	1	2	3	4	9
(12) 外部の有用な教材・コンテンツを活用	1	2	3	4	9
(13) 単位互換など他大学との連携	1	2	3	4	9
(14) 学外にいる学生に対する学習リソースへのアクセスの向上	1	2	3	4	9
(15) アクティブラーニング型授業での利用	1	2	3	4	9
(16) PBL 型授業での利用 ¹	1	2	3	4	9
(17) 授業外学習時間の向上	1	2	3	4	9
(18) その他 具体的にお願い致します。 ()	1	2	3	4	9

注 1 : Project-Based Learning、Problem-Based Learning を含みます。

問 3 4. ICT 活用教育を導入して実際に効果は得られましたか？

（「1 又は 9」と回答された方は問 3 6 へ進んで下さい。）

1	全くみられない	2	あまりみられない
3	ややみられる	4	よくみられる
9	分からない		

調査票（学部・研究科用）

問35. 問34で選択肢「2、3、4」のいずれかを回答された方にお聞きします。

得られた効果は何ですか？ 以下の各項目についてご回答下さい。

	全く あて はまら ない	あまり あて はまら ない	やや あて はまる	よく あて はまる	分から ない
(1) 学生に対してより便利な環境を提供できるようになった	1	2	3	4	9
(2) 学生の学習意欲が向上した	1	2	3	4	9
(3) 学生の学習効果が向上した	1	2	3	4	9
(4) 学生の修了率が向上した	1	2	3	4	9
(5) 競争力や知名度が向上した	1	2	3	4	9
(6) より多くの受験生・留学生が獲得できた	1	2	3	4	9
(7) 対象学生層が拡大した	1	2	3	4	9
(8) 教職員の作業を効率化できた	1	2	3	4	9
(9) 予算コストが削減できた	1	2	3	4	9
(10) 教育の質が向上した	1	2	3	4	9
(11) 幅広い教員を獲得できた	1	2	3	4	9
(12) 外部の有用な教材・コンテンツを活用できた	1	2	3	4	9
(13) 単位互換など他大学との連携ができた	1	2	3	4	9
(14) 学外にいる学生に対する学習リソースへのアクセスが向上した	1	2	3	4	9
(15) アクティブラーニング型授業が増加した	1	2	3	4	9
(16) PBL型授業が増加した	1	2	3	4	9
(17) 授業外学習時間が向上した	1	2	3	4	9
(18) その他 具体的にお願い致します。 ()	1	2	3	4	9

調査票（学部・研究科用）

問36. ICT活用教育の導入や推進を妨げる阻害要因は存在しますか？

（「1又は9」と回答された方は問38へ進んで下さい。）

1	全く存在しない	2	あまり存在しない
3	やや存在する	4	多数存在する
9	分からぬ		

問37. 問36で選択肢「2、3、4」のいずれかを回答された方にお聞きします。

その阻害要因は何ですか？ 以下の各項目についてご回答下さい。

	全く あて はまら ない	あり て はまら ない	やや あて はまる	よく あて はまる	分から ない
(1) 教職員の理解やモチベーションの不足	1	2	3	4	9
(2) 教職員のICT活用スキル不足	1	2	3	4	9
(3) 学生のICT活用スキル不足	1	2	3	4	9
(4) システム運用やコンテンツ開発に関するノウハウの不足	1	2	3	4	9
(5) 著作権処理等のノウハウの不足	1	2	3	4	9
(6) 予算の不足	1	2	3	4	9
(7) 時間の不足	1	2	3	4	9
(8) インフラの不整備	1	2	3	4	9
(9) 教職員へのICT活用の技術支援体制の不足	1	2	3	4	9
(10) 学習者への学習支援体制の不足	1	2	3	4	9
(11) システムやコンテンツを作成、維持する人員の不足	1	2	3	4	9
(12) 学内の組織的な協力支援体制の欠如	1	2	3	4	9
(13) 学内コンセンサスの欠如	1	2	3	4	9
(14) その他 具体的にお願い致します。 ()	1	2	3	4	9

調査票（学部・研究科用）

問38. ICT活用教育を導入したデメリットは存在しますか？

（「1又は9」と回答された方は問40へ進んで下さい。）

1	全く存在しない	2	あまり存在しない
3	やや存在する	4	多数存在する
9	分からぬ		

問39. 問38で選択肢「2、3、4」のいずれかを回答された方にお聞きします。

そのデメリットは何ですか？ 以下の各項目についてご回答下さい。

	全く あて はまら ない	あまり あて はまら ない	やや あて はまる	よく あて はまる	分から ない
(1) コンテンツの作成など教員の負担増	1	2	3	4	9
(2) 事務作業の負担が増加	1	2	3	4	9
(3) 予算コストが増加	1	2	3	4	9
(4) 対面授業と比べて学習効果が低下	1	2	3	4	9
(5) 学生の学習意欲を維持することが困難	1	2	3	4	9
(6) 学生との意思疎通の困難	1	2	3	4	9
(7) システムの維持、管理で負担が増加	1	2	3	4	9
(8) ICTに不慣れな学生の対応の負担	1	2	3	4	9
(9) ICTに不慣れな教職員の対応の負担	1	2	3	4	9
(10) その他 具体的にお願い致します。 （ ）	1	2	3	4	9

調査票（学部・研究科用）

VI. 支援体制

貴学部又は研究科における支援体制についてお聞きします。該当する番号に○を付けて下さい。
尚、問41及び問47は、該当する場合のみ（　　）の中に記入して下さい。

問40. 貴学部又は研究科において、ICT活用教育の運用のための技術支援を行う組織は存在しますか？（「0」と回答された方は問45へ進んで下さい。）

注：本問以降、「技術支援」組織と「教育支援」組織を区別してお聞きします。「教育支援」については問46以降でお聞きします。

1	はい	0	いいえ
---	----	---	-----

問41. 問40で「1. はい」と回答された方にお聞きします。（　　）の中に記入して下さい。

注1：「アルバイト（学生）」は、ウェブサイトの管理、メディア教室や図書館等での教職員や学生向けの技術支援、ヘルプデスク対応、情報教育関連授業でのTA等の担当者を含みます。

注2：ボランティア、サークル、ゼミ等の学生スタッフがいるのであればアルバイト（学生）の人数にカウントして下さい

注3：正職員及びフルタイムの非常勤職員（事務補佐員、非常勤職員、派遣社員等）は「職員」に、パートタイムの非常勤職員は「アルバイト（職員）」にカウントして下さい。

A	組織の名前を教えて下さい。（　　）	
B	組織のスタッフ数を教えて下さい。常勤（　　）名	非常勤（　　）名
C	内訳を教えて下さい。 (1)専任教員 (　　)名 (2)兼任教員 (　　)名 (3)職員 (　　)名 (4)アルバイト（職員）(　　)名 (5)アルバイト（学生）(　　)名 (6)その他 (　　)名	
D	Cの内訳の中で、直接技術支援を行っている人数を教えて下さい。 (1)専任教員 (　　)名 (2)兼任教員 (　　)名 (3)職員 (　　)名 (4)アルバイト（職員）(　　)名 (5)アルバイト（学生）(　　)名 (6)その他 (　　)名	

調査票（学部・研究科用）

問4 2. その組織は次の支援を行っていますか？

	全く 行って いない	あまり 行って いない	一部 行って いる	行って いる	分から ない
(1) LMS の提供・管理運営	1	2	3	4	9
(2) LMS 以外の授業用グループウェアや コミュニケーションツールの提供・管理運営	1	2	3	4	9
(3) e ポートフォリオの提供・管理運営	1	2	3	4	9
(4) ストリーミングサーバの提供・管理運営	1	2	3	4	9
(5) e ラーニングコンテンツ作成システム (スタジオ) の提供・管理運営	1	2	3	4	9
(6) テレビ会議システムの提供・管理運営	1	2	3	4	9
(7) PC・端末貸出	1	2	3	4	9
(8) ソフトウェア貸出・提供	1	2	3	4	9
(9) 技術的支援のためのヘルプデスクの設置・管理運営	1	2	3	4	9
(10) 技術的支援のためのパンフレット・手引書の作成・ 配布	1	2	3	4	9
(11) 技術的支援のための講習会・セミナーの実施	1	2	3	4	9
(12) その他 具体的にお願い致します。 ()	1	2	3	4	9

問4 3. その組織において、学生アルバイトは、ICT 活用教育の運用のための技術支援に関する補助業 務等を行っていますか？

注：「補助業務」とは問4 2 の設問にあるような技術支援に対する補助を想定しています。

1	全く行っていない	2	あまり行っていない
3	一部行っている	4	行っている
9	分からない		

調査票（学部・研究科用）

問44. その組織の抱えている問題点は次のどれですか？（複数回答可）

1	予算の不足	2	技術的支援のための人員の不足
3	経営側の理解不足	4	教員の理解不足
5	ICT 活用教育に関する情報不足		
6	その他（具体的に ）		

問45. ICT セキュリティに関して、昨年度1年間に起こったインシデント（実際に起きた事件・事故）についてご回答下さい。（複数回答可）

1	個人情報の盗難・紛失（ノート PC・USB デバイス等）	2	組織のネットワークへの外部からの攻撃・侵入
3	コンピュータウイルス	4	スパイウェア
5	SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）に関する事件・事故	6	ホームページの改ざん
7	その他（具体的に ）		
9	分からぬ		

調査票（学部・研究科用）

問46. 貴学部又は研究科において、ICT活用教育の運用のための教育支援を行う組織は存在しますか？（「〇」と回答された方は問52へ進んで下さい。）

1	はい	0	いいえ
---	----	---	-----

問47. 問46で「1. はい」と回答された方にお聞きします。（　　）の中に記入して下さい。

注1：ボランティア、サークル、ゼミ等の学生スタッフがいるのであればアルバイト（学生）の人数にカウントして下さい。

注2：正職員及びフルタイムの非常勤職員（事務補佐員、非常勤職員、派遣社員等）は「職員」に、パートタイムの非常勤職員は「アルバイト（職員）」にカウントして下さい。

A	組織の名前を教えて下さい。（　　）				
B	組織のスタッフ数を教えて下さい。 常勤（　　）名 非常勤（　　）名				
C	内訳を教えて下さい。 (1)専任教員 (　　)名 (2)兼任教員 (　　)名 (3)職員 (　　)名 (4)アルバイト（職員） (　　)名 (5)アルバイト（学生） (　　)名 (6)その他 (　　)名				
D	Cの内訳の中で、直接技術支援を行っている人数を教えて下さい。 (1)専任教員 (　　)名 (2)兼任教員 (　　)名 (3)職員 (　　)名 (4)アルバイト（職員） (　　)名 (5)アルバイト（学生） (　　)名 (6)その他 (　　)名				

問48. その組織は教員に対して次の支援を行っていますか？

	全く 行って いない	あまり 行って いない	一部 行って いる	行って いる	分から ない
(1) 教員向け相談員制度の設置	1	2	3	4	9
(2) 授業用Webページ作成支援（作成補助、助言）	1	2	3	4	9
(3) ビデオ教材作成支援（作成補助、助言）	1	2	3	4	9
(4) eラーニングコンテンツ作成支援（作成補助、助言）	1	2	3	4	9
(5) インストラクショナルデザインなどに基づく教授設計支援	1	2	3	4	9
(6) ICT活用の個別相談・指導	1	2	3	4	9
(7) ICT活用実施に関する資金補助	1	2	3	4	9
(8) ICT活用事例の収集・広報・紹介	1	2	3	4	9
(9) ICT活用授業の教員相互参観の促進	1	2	3	4	9
(10) 教育利用のためのパンフレット・手引書の作成・配布	1	2	3	4	9
(11) 教育利用のための講習会・セミナーの実施	1	2	3	4	9
(12) 学外で行われる教育利用のための講習会・セミナーの紹介	1	2	3	4	9
(13) 学生アンケートによる授業方法改善の提案	1	2	3	4	9
(14) その他 具体的にお願い致します。 (　　)	1	2	3	4	9

調査票（学部・研究科用）

問49. その組織は学習者に対して次の支援を行っていますか？

	全く 行って いない	あまり 行って いない	一部 行って いる	行って いる	分から ない
(1) ICT活用のためのヘルプデスク	1	2	3	4	9
(2) ICT活用のためのパンフレット・手引書の作成・配布	1	2	3	4	9
(3) ICT活用のための講習会の実施	1	2	3	4	9
(4) 掲示板や学習クラブなど学生コミュニティの運営	1	2	3	4	9
(5) 学生アンケート結果の開示・返答	1	2	3	4	9
(6) その他 具体的にお願い致します。 ()	1	2	3	4	9

問50. その組織において、学生アルバイトは、ICT活用教育の運用のための、教員や学生に対する教育支援に関する補助業務等を行っていますか？

注：「補助業務」とは問48及び問49の設問にあるような技術支援に対する補助を想定しています。

1	全く行っていない	2	あまり行っていない
3	一部行っている	4	行っている
9	分からない		

問51. その組織の抱えている問題点は次のどれですか？（複数回答可）

1	予算の不足	2	技術的支援のための人員の不足
3	経営側の理解不足	4	教員の理解不足
5	ICT活用教育に関する情報不足		
6	その他（具体的に)		

調査票（学部・研究科用）

VII. そのほか

問52. 本調査について、回答が困難であったⅡ～VIのカテゴリにチェックを入れて下さい。
(複数回答可)

- 組織戦略
- オープンエデュケーション
- ICT 活用教育実施状況
- ICT 活用教育の利点・決定
- 支援体制

問53. 本調査に関連して、貴学部または研究科におけるICT活用教育についての有益な情報や先駆的な取り組み、また他機関から得たい情報があれば、ご自由にご記入下さい。

回答欄 :

回答者情報

本調査のご回答内容に関して、後日確認させて頂く場合がございますので、ご担当者の連絡先のご記入をお願い致します。

尚、本調査により得られた個人情報及び回答内容については、適正に取り扱い、集計分析及び報告書公開のご連絡以外に使用することは決してございません。

貴 学 名 称	
貴学部または研究科の長御氏名	
御 担 当 者 様 (所 属)	
(役職)	
(氏名)	
電 話 番 号	
E-mail アドレス	

調査項目は以上です。ご協力ありがとうございました。

調査票（短期大学・高等専門学校用）

調査票（短期大学・高等専門学校用）

本調査は、各短期大学及び高等専門学校の ICT（情報コミュニケーション技術）を用いた教育について調査することを目的としています。調査内容の詳細及び問い合わせ先につきましては調査票掲載サイト

<http://axies.jp/ja/ict/survey/>
をご覧下さい。

本調査は短期大学及び高等専門学校の事務局または教職員の方にお聞きします。以下の設問にご回答下さい。

回答所用時間は30分程度です。

※ 特に指定がない場合、平成27年10月現在の状況についてお聞きします。

※ 機関を特定できる形での回答内容の公表は行いません。

貴学名称及び大学等コードをご記入下さい。

貴学名称

大学等コード

I. 基本情報

貴学の大学情報についてお聞きします。（　）の中に数値を記入して下さい。

問1. 地理的に分散しているキャンパス数、学部・研究科数、専任教員数、学生数、正職員数、年間の授業数についてご回答下さい。

(1)	キャンパス	(　) 箇所	(2)	サテライトオフィス	(　) 箇所
(3)	海外・その他	(　) 箇所	(4)	専任教員	約(　)名
(5)	学生(学部)	約(　)名	(6)	学生(研究科)	約(　)名
(7)	正職員	約(　)名	(8)	年間の授業数	約(　)授業

注：「正職員」は、当該機関において直接雇用された常勤の事務職員数をお書き下さい。外部資金等により雇用されるフルタイムの非常勤職員（事務補佐員、非常勤職員、派遣社員等）及びパートタイムの非常勤職員は除きます。

調査票（短期大学・高等専門学校用）

II. 組織戦略

貴学のICT活用教育（※）の全般的取り組みに関するお聞きします。

該当する番号に○を付けて下さい。

※ここで言うICT活用教育とは、情報コミュニケーション技術を利用した教育活動のこと。以下のものが例としてあげられる。eラーニング・デジタル教材の公開・オープンエデュケーション（OCWやMOOC）公開や活用、シラバスのWeb公開、ICTツールの授業利用、LMS（学習管理システム）やeポートフォリオの利用など。

問2. ICT活用教育を大学として重要と考えていますか？

1	全く重要ではない	2	あまり重要ではない
3	ある程度重要である	4	とても重要である
9	分からぬ		

問3. ICT活用教育の推進が組織のビジョンやアクションプランや中期計画に記述されていますか？

（「1」と回答された方は問5へ進んで下さい。）

注：「アクションプラン」とは目標を達成するための具体的な実行計画の意味合いであります。

0	記述されていない	1	記述されている
---	----------	---	---------

問4. 問3で「0. 記述されていない」と回答された方にお聞きします。

今後の記述予定についてご回答下さい。（回答後、問8へ進んで下さい。）

1	検討も予定もしていない	2	記述を検討している	3	記述を予定している
---	-------------	---	-----------	---	-----------

問5. ICT活用教育において、学生と教員間、及び学生間のオンライン上のコミュニケーションに関して、全学的なルールや内規がありますか？

1	はい	0	いいえ
---	----	---	-----

問6. ICT活用教育の推進に関する計画は全学レベルで立案されていますか？（複数回答可）

1	立案されていない	2	大枠の目標のみされている
3	年度区切りの中期計画がある	4	年間の詳細計画がある

問7. ICT活用教育を推進する組織はありますか？それは学内のどのレベルの組織ですか？（複数回答可）

1	存在しない	2	教員個人レベル	3	教員のグループ
4	学科・学部共通組織	5	全学共通組織		
6	その他の組織（具体的に				）
9	分からぬ				

調査票（短期大学・高等専門学校用）

問8. ICT活用教育の推進に関する資金はどのように確保していますか？（複数回答可）

（「1」または「9」と回答された方は問10へ進んで下さい。）

1	確保されていない	2	学内資金
3	政府からの競争的外部資金		
4	その他の外部資金（具体的に)
9	分からぬ		

問9. ICT活用教育に関する資金として、どの程度の予算を確保していますか？昨年度1年間の予算額についてご回答下さい。

注：予算額には、学内のICT環境（LMS、教材作成支援等）の維持・管理にかかる費用、正規雇用以外でICT環境の維持・管理のために雇用又は派遣されたスタッフの人事費を含みます。情報インフラの保守管理のための費用や、部局独自の費用は含みません。

1	50万円以下	2	51～100万円	3	101～500万円
4	501～1,000万円	5	1,001～3,000万円	6	3,001～5,000万円
7	5,000万円以上	9	分からぬ		

問10. ICT活用教育の推進に関する人材はどのように確保していますか？（複数回答可）

注：ボランティア、サークル、ゼミ等の学生スタッフがいるのであればアルバイト（学生）の人数にカウントして下さい

1	確保されていない	2	学内兼任者
3	学内専任者	4	外部委託
5	アルバイト（職員）	6	アルバイト（学生）
7	その他（具体的に)

問11. ICT活用教育の効果測定は行われていますか？（複数回答可）

（「1」と回答された方は問13へ進んで下さい。）

※学生アンケートには、授業評価アンケートを含む

1	行われていない	2	学生アンケート（※）で教育効果を測定
3	小テスト、学期末テストで教育効果を測定	4	LMS等で得られる学習データを利用して教育効果を測定
5	コスト削減効果を測定	6	OCW、MOOC公開等による広報効果を測定
7	その他（具体的に)

問12. ICT活用教育の効果測定結果は次期の実施に向けて反映されていますか？

1	全く反映されていない	2	あまり反映されていない
3	やや反映されている	4	よく反映されている
9	分からぬ		

調査票（短期大学・高等専門学校用）

問13. ICT活用教育の対象者は誰ですか？（複数回答可）

1	入学前の学生	2	一般の学生（通学）	3	社会人学生（通学）
4	学生（通信）	5	公開講座等の受講生	6	留学生
7	卒業生	8	教員	9	職員
10	執行部	11	その他（具体的に ）		

調査票（短期大学・高等専門学校用）

III. オープンエデュケーション

貴学のオープンエデュケーションやMOOCの全学的な取り組みについてお聞きします。
該当する番号に○を付けて下さい。

問14. オープンな教育リソース（OER）に関する貴学の認識の度合いについてご回答下さい。

注：「OER: Open Educational Resources」とは、インターネット等を通じて無償で入手可能な講義教材（OCW、講義ビデオ、電子教科書、学習コンテンツ等）、教育ソフトウェア等を含む教育リソースを指します。)

1	全く認識していない	2	あまり認識していない
3	やや認識している	4	よく認識している
9	分からぬ		

問15. オープンな教育リソース（OER）について、貴学での提供状況についてご回答下さい。

（「7」「9」に回答された方は問17へ進んで下さい。）

1	現在提供している		
2	次年度の提供を予定している	3	2～3年以内の提供を予定している
4	次年度の提供を検討している	5	2～3年以内の提供を検討している
6	時期は未定だが将来的な提供を検討している	7	提供する予定はない
9	分からぬ		

問16. 問15で「1～6」と回答された方にお聞きします。

OERを提供する目的は何ですか。（複数回答可）

1	高校生向けの広報	2	留学生の獲得
3	国内の大学生の獲得	4	国内の大学院生の獲得
5	社会人の転職の支援	6	社会人のスキルアップの支援
7	生涯教育の支援	8	卒業生への教育サービス提供
9	自学の学生の学習環境の向上	10	多様な教育提供の選択肢の拡大
11	教育情報の発信	12	高等教育機関としての社会貢献
13	教育の質の向上のための学習データ収集	14	ファカルティ・ディベロップメント
15	大学間教育連携（単位互換等）	16	その他（ ）

問17. オープンな教育リソース（OER）について、貴学での利用状況についてお聞きします。

1	現在利用している		
2	次年度の利用を予定している	3	2～3年以内の利用を予定している
4	次年度の利用を検討している	5	2～3年以内の利用を検討している
6	時期は未定だが将来的な利用を検討している	7	利用する予定はない
9	分からぬ		

調査票（短期大学・高等専門学校用）

問18. 大規模公開オンライン講座（MOOC）について、貴学からの提供状況についてお聞きします。

（「2～6」を選択された方は問20に進んで下さい。）

（「7」又は「9」を選択された方は問21に進んで下さい。）

注：「大規模公開オンライン講座（MOOC: Massive Open Online Course）」は、インターネット等を通じ、誰もが無償または安価で受講できる講義のことです。大人数（数千～数万名）の受講者を対象としており、受講者は講義ビデオやオンラインテストなどを使って学習を進めます。通常、数週間～数ヶ月の受講期間が設けられており、受講期間終了後には成績が提示され、合格者には修了証が発行されることがあります。例えばedX、Coursera、JM0OC等のプラットフォームやサービス提供者があります。

1	現在提供している		
2	次年度の提供を予定している	3	2～3年以内の提供を予定している
4	次年度の提供を検討している	5	2～3年以内の提供を検討している
6	時期は未定だが将来的な導入を検討している	7	提供する予定はない
9	分からぬ		

問19. 問18で「1. 現在提供している」と回答された方にお聞きします。

貴大学からMOOCで提供した講座数を数値でお答え下さい。

全講座数	() 科目	うち今年度の講座数	() 科目
------	--------	-----------	--------

問20. 問18で「1～6」と回答された方にお聞きします。

MOOCで講義を提供する目的は何ですか。（複数回答可）

1	高校生向けの広報	2	留学生の獲得
3	国内の大学生の獲得	4	国内の大学院生の獲得
5	社会人の転職の支援	6	社会人のスキルアップの支援
7	生涯教育の支援	8	卒業生への教育サービス提供
9	自学の学生の学習環境の向上	10	多様な教育提供の選択肢の拡大
11	教育情報の発信	12	高等教育機関としての社会貢献
13	教育の質の向上のための学習データ収集	14	ファカルティ・ディベロップメント
15	大学間教育連携（単位互換等）	16	その他（ ）

問21. MOOCについて、貴学以外の大学等で提供されている講義を、貴学で正式に利用していますか？

注：「正式な利用」とは、授業内外での補助教材（例：反転授業での利用）としての利用や、修了者への単位の振替などを含みます。

1	利用していない	2	利用を検討している
3	利用を予定している	4	利用している
9	分からぬ		

IV. ICT活用教育実施状況

調査票（短期大学・高等専門学校用）

1 授業科目における、オンライン型授業と対面型授業の割合についてお聞きします。

尚、オンライン型授業とは、ネットワークを経由して行う形式の授業です。

該当する番号に○を付けて下さい。

問22. 全ての授業が対面型で行われる科目はどのくらいありますか？

注：オンライン型授業の割合が0%の科目が対象です。

1	なし (0%)	2	1～25%の科目	3	26～50%の科目
4	51～75%の科目	5	76～99%の科目	6	全ての科目 (100%)
9	分からぬ				

問23. ほとんどの授業が対面型で行われる科目はどのくらいありますか？

注：オンライン型授業の割合が1～29%の科目が対象です。

1	なし (0%)	2	1～25%の科目	3	26～50%の科目
4	51～75%の科目	5	76～99%の科目	6	全ての科目 (100%)
9	分からぬ				

問24. 対面とオンラインのブレンド型で行われる科目はどのくらいありますか？

注：オンライン型授業の割合が30～79%の科目が対象です。

1	なし (0%)	2	1～25%の科目	3	26～50%の科目
4	51～75%の科目	5	76～99%の科目	6	全ての科目 (100%)
9	分からぬ				

問25. 全ての授業がオンライン型で行われる科目はどのくらいありますか？

注：オンライン型授業の割合が80～100%の科目が対象です。

1	なし (0%)	2	1～25%の科目	3	26～50%の科目
4	51～75%の科目	5	76～99%の科目	6	全ての科目 (100%)
9	分からぬ				

続いて、貴学における情報コミュニケーション技術（ICT）を用いた教育についてお聞きします。

問26. シラバスのWeb上の公開をどの程度行っていますか？

1	公開していない	2	学部・研究科提供科目の一部
3	学部・研究科提供科目の全て	4	学内共通科目
9	分からぬ		

問27. 【授業中】において、以下のICTツールをどの程度用いていますか？

調査票（短期大学・高等専門学校用）

	全く 使って いない	あまり 使って いない	よく 使って いる	とてもよ く使って いる	分から ない
(1) パワーポイント等のスライド	1	2	3	4	9
(2) Web 上の教材・ビデオ	1	2	3	4	9
(3) OER	1	2	3	4	9
(4) 講義映像等のストリーミングビデオ	1	2	3	4	9
(5) シミュレーション教材	1	2	3	4	9
(6) 携帯・スマートフォン・タブレットのアプリケーション	1	2	3	4	9
(7) 電子黒板	1	2	3	4	9
(8) 電子書籍・電子教科書	1	2	3	4	9
(9) テレビ会議・ウェブ会議システム(ポリコム等)	1	2	3	4	9
(10) チャット・ビデオチャット (Skype、FaceTime 等)	1	2	3	4	9
(11) Wiki	1	2	3	4	9
(12) ソーシャル・ネットワーキング・サービス (mixi、Gree、Facebook 等)	1	2	3	4	9
(13) ブログ	1	2	3	4	9
(14) LINE	1	2	3	4	9
(15) LMS	1	2	3	4	9
(16) e ポートフォリオ (mahara 等)	1	2	3	4	9
(17) クリッカー (レスポンスアナライザ)	1	2	3	4	9
(18) ファイル共有ツール (dropbox 等)	1	2	3	4	9
(19) コラボレーションツール (Google Docs、SharePoint、Office365 等)	1	2	3	4	9
(20) Twitter	1	2	3	4	9
(21) その他のツール ()	1	2	3	4	9

調査票（短期大学・高等専門学校用）

問28. 【授業外時間の学習】において、以下のICTツールをどの程度用いていますか？

	全く 使って いない	あまり 使って いない	よく 使って いる	とてもよ く使って いる	分から ない
(1) パワーポイント等のスライド	1	2	3	4	9
(2) Web上の教材・ビデオ	1	2	3	4	9
(3) OER	1	2	3	4	9
(4) 講義映像等のストリーミングビデオ	1	2	3	4	9
(5) シミュレーション教材	1	2	3	4	9
(6) 携帯・スマートフォン・タブレットのアプリケーション	1	2	3	4	9
(7) 電子黒板	1	2	3	4	9
(8) 電子書籍・電子教科書	1	2	3	4	9
(9) テレビ会議・ウェブ会議システム(ポリコム等)	1	2	3	4	9
(10) チャット・ビデオチャット(Skype、FaceTime等)	1	2	3	4	9
(11) Wiki	1	2	3	4	9
(12) ソーシャル・ネットワーキング・サービス(mixi、Gree、Facebook等)	1	2	3	4	9
(13) ブログ	1	2	3	4	9
(14) LINE	1	2	3	4	9
(15) LMS	1	2	3	4	9
(16) eポートフォリオ(mahara等)	1	2	3	4	9
(17) クリッカー(レスポンスアナライザ)	1	2	3	4	9
(18) ファイル共有ツール(dropbox等)	1	2	3	4	9
(19) コラボレーションツール(Google Docs、SharePoint、Office365等)	1	2	3	4	9
(20) Twitter	1	2	3	4	9
(21) その他のツール()	1	2	3	4	9

調査票（短期大学・高等専門学校用）

問29. 用いたICTツールの利用目的は何ですか？以下の各項目についてご回答下さい。

	全く あて はまら ない	あまり あて はまら ない	やや あて はまる	よく あて はまる	分から ない
(1) 学務情報の伝達	1	2	3	4	9
(2) 授業に関する教材の提供	1	2	3	4	9
(3) 授業外学習に対する支援	1	2	3	4	9
(4) 自学自習	1	2	3	4	9
(5) リメディアル	1	2	3	4	9
(6) 反転授業	1	2	3	4	9
(7) 学生・教員間のコミュニケーション	1	2	3	4	9
(8) 学生間のコミュニケーション	1	2	3	4	9
(9) 学習者間のグループ活動による学習	1	2	3	4	9
(10) 授業中の投票	1	2	3	4	9
(11) 発見型・探索型学習	1	2	3	4	9
(12) テスト・アセスメント	1	2	3	4	9
(13) レポートなどの提出	1	2	3	4	9
(14) これまでの学習活動のポートフォリオの提供 (学習記録の提供)	1	2	3	4	9
(15) 教育改善に向けた学習データの分析	1	2	3	4	9
(16) 授業評価やアンケート	1	2	3	4	9
(17) 授業の感想や振り返り	1	2	3	4	9
(18) 自己評価・他者評価・相互評価	1	2	3	4	9
(19) 学外向けの宣伝	1	2	3	4	9

続いて、教材・コンテンツについてお聞きします。

問30. 教材やコンテンツの作成はどのように行っていますか？あてはまる科目の割合をお答え下さい。（複数選択可）

1	教員が独力で作成している	2	教員が同僚と協力して作成している
3	学内の支援組織が作成している	4	有償の外部コンテンツを用いている
5	無償の外部コンテンツを用いている		

調査票（短期大学・高等専門学校用）

問3 1. 国内外の他大学と教材の共有を行っていますか？

（「0」と回答された方は問3 3へ進んで下さい。）

1	はい	0	いいえ
---	----	---	-----

問3 2. 問3 1で「1. はい」と回答された方へお聞きします。以下の項目から当てはまるものを選択して下さい。（複数回答可）

1	国内の他大学の教材を利用している	2	国内の他大学へ教材を提供している
3	海外の他大学の教材を利用している	4	海外の他大学へ教材を提供している

次に、学習管理システム（Learning Management System:LMS）についてお聞きします。

問3 3. 全学で学習管理システム（LMS）を導入・運用していますか？（複数回答可）

（「9」と回答された方は問3 6へ進んで下さい。）

注：「LMS（Learning Management System）」とは、教材の配信、レポートや課題の提出、テスト、電子掲示板等の機能により授業に関する教育・学習環境を支援するためのオンラインシステムのことです。

1	全学で運用されている LMS を利用している	2	部局で運用されている LMS を利用している
3	個人教員が運用している LMS を利用している	9	していない

問3 4. 問3 3で選択肢「1、2、3」のいずれかを回答された方へお聞きします。利用している LMS をすべて選択して下さい。（複数回答可）

1	Blackboard-Learn	2	Blackboard-WebCT	3	COURSEPOWER
4	Canvas LMS	5	Sakai	6	moodle
7	CEAS	8	TIES	9	Internet Navigware
10	Web Class	11	.campus	12	manaba
13	Universal passport	14	JZ/Jenzabar	15	独自開発システム
16	その他（名称：）				

問3 5. 学習管理システム（LMS）を、今年度、実際に利用している授業数についてお答え下さい。

注：登録のみで利用実態のない授業数は除きます。

1	約（ ）授業	9	分からない
---	--------	---	-------

調査票（短期大学・高等専門学校用）

問36. 貴学におけるICT環境の導入状況についてお尋ねします。以下の各項目についてご回答下さい。

	導入の予定はない	導入を検討している	導入を予定している	試行的に導入している	導入している	分からぬ
(1) キャンパス内の無線LAN	1	2	3	4	5	9
(2) eポートフォリオ	1	2	3	4	5	9
(3) 機関が提供している公式SNS	1	2	3	4	5	9
(4) 講義収録システム	1	2	3	4	5	9
(5) 講義教材・ビデオの一般公開 (OCW、iTunesU、YouTube等)	1	2	3	4	5	9
(6) 電子教科書の作成・提供	1	2	3	4	5	9
(7) シラバスの公開	1	2	3	4	5	9
(8) 入学手続きシステム ¹	1	2	3	4	5	9
(9) 入学予定者向けサービスの提供 (入学前教育、リメディアル教材提供等)	1	2	3	4	5	9
(10) 卒業生向けサービスの提供 (eメールアドレス配布、SNSアカウント提供等)	1	2	3	4	5	9
(11) 履修登録システム	1	2	3	4	5	9
(12) 顧客管理システム(CRM) ²	1	2	3	4	5	9
(13) 学生情報システム(SIS) ³	1	2	3	4	5	9
(14) ヘルプデスクの設置	1	2	3	4	5	9
(15) メールシステム(教職員・学生向け)	1	2	3	4	5	9
(16) ウェブサイト管理システム	1	2	3	4	5	9
(17) その他 具体的にお願い致します。 ()	1	2	3	4	5	9

注1：入学手続きシステム(Online Admission System)とは、高等教育機関が入学許可者を選抜するため、入学を希望する学生が、願書を提出したり高等教育機関が要求した課題・成績等の情報を応募のために提出するシステムのことです。

注2：顧客管理システム(CRM: Customer Relationship Management)とは、オープンキャンパス、公開講座、サマースクール等への出席者の情報等を管理するシステムのことです。

注3：学生情報システム(SIS: Student Information System)とは、例えば、学生の属性、学習履歴、履修状況、成績、出欠状況、スケジュール管理等、学生に関するデータを統合的に管理するシステムのことです。学生や関連するステークホルダーに対して有用な統計情報を提供する場合もあります。

調査票（短期大学・高等専門学校用）

V. ICT 活用教育の利点・欠点

貴大学の ICT 活用教育の導入目的・効果についてお聞きします。

該当する番号に○を付けて下さい。

尚、ICT 活用教育は問 27 のツールの利用を含むと想定しております。

問 37. ICT 活用教育に期待される効果は何ですか？

以下の各項目についてご回答下さい。

	全く あて はまら ない	あまり あて はまら ない	やや あて はまる	よく あて はまる	分から ない
(1) 学生に対してより便利な環境の提供	1	2	3	4	9
(2) 学生の学習意欲の向上	1	2	3	4	9
(3) 学生の学習効果の向上	1	2	3	4	9
(4) 学生の修了率の向上	1	2	3	4	9
(5) 大学の競争力や知名度の向上	1	2	3	4	9
(6) 受験生・留学生の獲得	1	2	3	4	9
(7) 学生市場の拡大	1	2	3	4	9
(8) 教職員の作業効率化	1	2	3	4	9
(9) 予算コスト削減	1	2	3	4	9
(10) 教育の質の向上	1	2	3	4	9
(11) 幅広い教員獲得	1	2	3	4	9
(12) 外部の有用な教材・コンテンツを活用	1	2	3	4	9
(13) 単位互換など他大学との連携	1	2	3	4	9
(14) 学外にいる学生に対する学習リソースへの アクセスの向上	1	2	3	4	9
(14) アクティブラーニング型授業での利用	1	2	3	4	9
(15) PBL 型授業での利用 ¹	1	2	3	4	9
(16) 授業外学習時間の向上	1	2	3	4	9
(17) その他 具体的にお願い致します。 ()	1	2	3	4	9

注 1 : Project-Based Learning、Problem-Based Learning を含みます。

調査票（短期大学・高等専門学校用）

問38. ICT活用教育を導入して実際に効果は得られましたか？

（「1又は9」と回答された方は問40へ進んで下さい。）

1	全くみられない	2	あまりみられない
3	ややみられる	4	よくみられる
9	分からぬ		

問39. 問27で選択肢「2、3、4」のいずれかを回答された方にお聞きします。

得られた効果は何ですか？ 以下の各項目についてご回答下さい。

	全く あて はまら ない	あり あて はまら ない	やや あて はまる	よく あて はまる	分から ない
(1) 学生に対してより便利な環境を提供できるようになった	1	2	3	4	9
(2) 学生の学習意欲が向上した	1	2	3	4	9
(3) 学生の学習効果が向上した	1	2	3	4	9
(4) 学生の修了率が向上した	1	2	3	4	9
(5) 競争力や知名度が向上した	1	2	3	4	9
(6) より多くの受験生・留学生が獲得できた	1	2	3	4	9
(7) 対象学生層が拡大した	1	2	3	4	9
(8) 教職員の作業を効率化できた	1	2	3	4	9
(9) 予算コストが削減できた	1	2	3	4	9
(10) 教育の質が向上した	1	2	3	4	9
(11) 幅広い教員を獲得できた	1	2	3	4	9
(12) 外部の有用な教材・コンテンツを活用できた	1	2	3	4	9
(13) 単位互換など他大学との連携ができた	1	2	3	4	9
(14) 学外にいる学生に対する学習リソースへのアクセスが向上した	1	2	3	4	9
(15) アクティブラーニング型授業が増加した	1	2	3	4	9
(16) PBL型授業が増加した	1	2	3	4	9
(17) 授業外学習時間が向上した	1	2	3	4	9
(18) その他 具体的にお願い致します。 ()	1	2	3	4	9

調査票（短期大学・高等専門学校用）

問40. ICT活用教育の導入や推進を妨げる阻害要因は存在しますか？

（「1又は9」と回答された方は問42へ進んで下さい。）

1	全く存在しない	2	あまり存在しない
3	やや存在する	4	多数存在する
9	分からぬ		

問41. 問40で選択肢「2、3、4」のいずれかを回答された方にお聞きします。

その阻害要因は何ですか？ 以下の各項目についてご回答下さい。

	全く あて はまら ない	あり あて はまら ない	やや あて はまる	よく あて はまる	分から ない
(1) 教職員の理解やモチベーションの不足	1	2	3	4	9
(2) 教職員のICT活用スキル不足	1	2	3	4	9
(3) 学生のICT活用スキル不足	1	2	3	4	9
(4) システム運用やコンテンツ開発に関するノウハウの不足	1	2	3	4	9
(5) 著作権処理等のノウハウの不足	1	2	3	4	9
(6) 予算の不足	1	2	3	4	9
(7) 時間の不足	1	2	3	4	9
(8) インフラの不整備	1	2	3	4	9
(9) 教職員へのICT活用の技術支援体制の不足	1	2	3	4	9
(10) 学習者への学習支援体制の不足	1	2	3	4	9
(11) システムやコンテンツを作成、維持する人員の不足	1	2	3	4	9
(12) 学内の組織的な協力支援体制の欠如	1	2	3	4	9
(13) 学内コンセンサスの欠如	1	2	3	4	9
(14) その他 具体的にお願い致します。 ()	1	2	3	4	9

調査票（短期大学・高等専門学校用）

問42. ICT活用教育を導入したデメリットは存在しますか？

（「1又は9」と回答された方は問44へ進んで下さい。）

1	全く存在しない	2	あまり存在しない
3	やや存在する	4	多数存在する
9	分からぬ		

問43. 問42で選択肢「2、3、4」のいずれかを回答された方にお聞きします。

そのデメリットは何ですか？ 以下の各項目についてご回答下さい。

	全く あて はまら ない	あまり あて はまら ない	やや あて はまる	よく あて はまる	分から ない
(1) コンテンツの作成など教員の負担増	1	2	3	4	9
(2) 事務作業の負担が増加	1	2	3	4	9
(3) 予算コストが増加	1	2	3	4	9
(4) 対面授業と比べて学習効果が低下	1	2	3	4	9
(5) 学生の学習意欲を維持することが困難	1	2	3	4	9
(6) 学生との意思疎通の困難	1	2	3	4	9
(7) システムの維持、管理で負担が増加	1	2	3	4	9
(8) ICTに不慣れな学生の対応の負担	1	2	3	4	9
(9) ICTに不慣れな教職員の対応の負担	1	2	3	4	9
(10) その他 具体的にお願い致します。 ()	1	2	3	4	9

調査票（短期大学・高等専門学校用）

VI. 支援体制

貴学における支援体制についてお聞きします。該当する番号に○を付けて下さい。

尚、問45及び問50は、該当する場合のみ（　　）の中に記入して下さい。

問44. 全学的にICT活用教育の運用のための技術支援を行う組織は存在しますか？（「〇」と回答された方は問49へ進んで下さい。）

注：本問以降、「技術支援」組織と「教育支援」組織を区別してお聞きします。「教育支援」については問50以降でお聞きします。

1	はい	0	いいえ
---	----	---	-----

問45. 問44で「1. はい」と回答された方にお聞きします。（　　）の中に記入して下さい。

注1：「アルバイト（学生）」は、ウェブサイトの管理、メディア教室や図書館等での教職員や学生向けの技術支援、ヘルプデスク対応、情報教育関連授業でのTA等の担当者を含みます。

注2：ボランティア、サークル、ゼミ等の学生スタッフがいるのであればアルバイト（学生）の人数にカウントして下さい。

注3：正職員及びフルタイムの非常勤職員（事務補佐員、非常勤職員、派遣社員等）は「職員」に、パートタイムの非常勤職員は「アルバイト（職員）」にカウントして下さい。

A	組織の名前を教えて下さい。（　　）	
B	組織のスタッフ数を教えて下さい。常勤（　　）名	非常勤（　　）名
C 内訳を教えて下さい。		
C	(1)専任教員（　　）名	(2)兼任教員（　　）名
	(3)職員（　　）名	(4)アルバイト（職員）（　　）名
	(5)アルバイト（学生）（　　）名	(6)その他（　　）名
D Cの内訳の中で、直接技術支援を行っている人数を教えて下さい。		
D	(1)専任教員（　　）名	(2)兼任教員（　　）名
	(3)職員（　　）名	(4)アルバイト（職員）（　　）名
	(5)アルバイト（学生）（　　）名	(6)その他（　　）名

調査票（短期大学・高等専門学校用）

問4 6. その組織は次の支援を行っていますか？

	全く 行って いない	あまり 行って いない	一部 行って いる	行って いる	分から ない
(1) LMS の提供・管理運営	1	2	3	4	9
(2) LMS 以外の授業用グループウェアや コミュニケーションツールの提供・管理運営	1	2	3	4	9
(3) e ポートフォリオの提供・管理運営	1	2	3	4	9
(4) ストリーミングサーバの提供・管理運営	1	2	3	4	9
(5) e ラーニングコンテンツ作成システム (スタジオ) の提供・管理運営	1	2	3	4	9
(6) テレビ会議システムの提供・管理運営	1	2	3	4	9
(7) PC・端末貸出	1	2	3	4	9
(8) ソフトウェア貸出・提供	1	2	3	4	9
(9) 技術的支援のためのヘルプデスクの設置・管理運営	1	2	3	4	9
(10) 技術的支援のためのパンフレット・手引書の作成・ 配布	1	2	3	4	9
(11) 技術的支援のための講習会・セミナーの実施	1	2	3	4	9
(12) その他 具体的にお願い致します。 ()	1	2	3	4	9

問4 7. その組織において、学生アルバイトは、ICT 活用教育の運用のための技術支援に関する補助業 務等を行っていますか？

注：「補助業務」とは問4 6 の設問にあるような技術支援に対する補助を想定しています。

1	全く行っていない	2	あまり行っていない
3	一部行っている	4	行っている
9	分からない		

問4 8. その組織の抱えている問題点は次のどれですか？（複数回答可）

1	予算の不足	2	技術的支援のための人員の不足
3	経営側の理解不足	4	教員の理解不足
5	ICT 活用教育に関する情報不足		
6	その他（具体的に ）		

調査票（短期大学・高等専門学校用）

問49. ICTセキュリティに関して、昨年度1年間に起こったインシデント（実際に起きた事件・事故）についてご回答下さい。（複数回答可）

1	個人情報の盗難・紛失（ノートPC・USBデバイス等）	2	組織のネットワークへの外部からの攻撃・侵入
3	コンピュータウイルス	4	スパイウェア
5	SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）に関する事件・事故	6	ホームページの改ざん
7	その他（具体的に）)
9	分からぬ		

問50. 全学的にICT活用教育の運用のための教育支援を行う組織は存在しますか？（「0」と回答された方は問56へ進んで下さい。）

1	はい	0	いいえ
---	----	---	-----

問51. 問50で「1. はい」と回答された方にお聞きします。（　）の中に記入して下さい。

注1：ボランティア、サークル、ゼミ等の学生スタッフがいるのであればアルバイト（学生）の人数にカウントして下さい。

注2：正職員及びフルタイムの非常勤職員（事務補佐員、非常勤職員、派遣社員等）は「職員」に、パートタイムの非常勤職員は「アルバイト（職員）」にカウントして下さい。

A	組織の名前を教えて下さい。（　）			
B	組織のスタッフ数を教えて下さい。	常勤（　）名	非常勤（　）名	
C	内訳を教えて下さい。 (1)専任教員 (　)名 (2)兼任教員 (　)名 (3)職員 (　)名 (4)アルバイト（職員） (　)名 (5)アルバイト（学生） (　)名 (6)その他 (　)名			
D	Cの内訳の中で、直接教育支援を行っている人数を教えて下さい。 (1)専任教員 (　)名 (2)兼任教員 (　)名 (3)職員 (　)名 (4)アルバイト（職員） (　)名 (5)アルバイト（学生） (　)名 (6)その他 (　)名			

調査票（短期大学・高等専門学校用）

問52. その組織は教員に対して次の支援を行っていますか？

	全く 行って いない	あまり 行って いない	一部 行って いる	行って いる	分から ない
(1) 教員向け相談員制度の設置	1	2	3	4	9
(2) 授業用 Web ページ作成支援（作成補助、助言）	1	2	3	4	9
(3) ビデオ教材作成支援（作成補助、助言）	1	2	3	4	9
(4) e ラーニングコンテンツ作成支援（作成補助、助言）	1	2	3	4	9
(5) インストラクショナルデザインなどに基づく教授設計支援	1	2	3	4	9
(6) ICT 活用の個別相談・指導	1	2	3	4	9
(7) ICT 活用実施に関する資金補助	1	2	3	4	9
(8) ICT 活用事例の収集・広報・紹介	1	2	3	4	9
(9) ICT 活用授業の教員相互参観の促進	1	2	3	4	9
(10) 教育利用のためのパンフレット・手引書の作成・配布	1	2	3	4	9
(11) 教育利用のための講習会・セミナーの実施	1	2	3	4	9
(12) 学外で行われる教育利用のための講習会・セミナーの紹介	1	2	3	4	9
(13) 学生アンケートによる授業方法改善の提案	1	2	3	4	9
(14) その他 具体的にお願い致します。 ()	1	2	3	4	9

調査票（短期大学・高等専門学校用）

問53. その組織は学習者に対して次の支援を行っていますか？

	全く 行って いない	あまり 行って いない	一部 行って いる	行って いる	分から ない
(1) ICT活用のためのヘルプデスク	1	2	3	4	9
(2) ICT活用のためのパンフレット・手引書の作成・配布	1	2	3	4	9
(3) ICT活用のための講習会の実施	1	2	3	4	9
(4) 掲示板や学習クラブなど学生コミュニティの運営	1	2	3	4	9
(5) 学生アンケート結果の開示・返答	1	2	3	4	9
(6) その他 具体的にお願い致します。 ()	1	2	3	4	9

問54. その組織において、学生アルバイトは、ICT活用教育の運用のための、教員や学生に対する教育支援に関する補助業務等を行っていますか？

注：「補助業務」とは問52及び問53の設問にあるような技術支援に対する補助を想定しています。

1	全く行っていない	2	あまり行っていない
3	一部行っている	4	行っている
9	分からない		

問55. その組織の抱えている問題点は次のどれですか？（複数回答可）

1	予算の不足	2	技術的支援のための人員の不足
3	経営側の理解不足	4	教員の理解不足
5	ICT活用教育に関する情報不足		
6	その他（具体的に)		

調査票（短期大学・高等専門学校用）

VII. そのほか

問56. 本調査について、回答が困難であった質問項目にチェックを入れて下さい。（複数回答可）

- 組織戦略
- オープンエデュケーション
- ICT 活用教育実施状況
- ICT 活用教育の利点・決定
- 支援体制

問57. 本調査に関連して、貴学におけるICT活用教育についての有益な情報や先駆的な取り組み、
また他機関から得たい情報があれば、ご自由にご記入下さい。

回答欄：

調査票（短期大学・高等専門学校用）

VIII. 回答者情報

本調査のご回答内容に関して、後日確認させて頂く場合がございますので、ご担当者の連絡先のご記入をお願い致します。

尚、本調査により得られた個人情報及び回答内容については、適正に取り扱い、集計分析及び報告書公開のご連絡以外に使用することは決してございません。

貴 学 名 称	
貴 学 の 長 御 氏 名	
御 担 当 者 (所 属)	
(役 職)	
(氏 名)	
電 話 番 号	
E-mail アドレス	

調査項目は以上です。ご協力ありがとうございました。